

# 学校便り 10月



富山県立しらとり支援学校

## 一人一人の成長が集団の成長につながる

教頭 鞍田 奈緒美

2学期が始まり、一か月が経とうとしています。夏の暑さが影響して稲の生育も早いので学校周辺の田んぼでは、稲刈り作業が済んでいるようです。今年は異常なまでの暑さが続き、今も、熱中症の用心をしながら学習活動を進めています。新型コロナウイルス感染症への対策についても、気を緩めることなく、児童生徒の健康と安全にしっかりと配慮していきたいと思っています。

さて、本校では9月の中旬に数名の教育実習生を迎えました。実習生には学級に入って、担当指導教諭の下で児童生徒の支援に関わってもらいました。実習期間の終わりに、実習生の授業を参観する機会があり、私は中学部の授業を参観しました。学級の中に参加して生徒との関係をつくり、緊張している様子の実習生とは対照的に、生徒達は生き生きと授業を楽しんでいるように見えました。

手を挙げて自分から発表する生徒、順番がきて自分の方法で発表する生徒、友達の発表をしっかりと聞いている生徒、発表を聞いて感想を伝えるなど生徒同士でやり取りする場面も見られました。以前は、先生とは話すけれど友達とは話せない、授業中はちょっと恥ずかしい、という様子だった生徒達が、教室の中で一人一人が存在感を示し、自信をもって集団の一員として活動している様子が見え、学級集団としての成長を感じることができました。その学級集団の中でまた、個人が成長する相乗効果を期待できるとしています。

10月3日、4日には、保護者懇談会を予定しています。前期の学習の様子をもとに後期の目標を保護者の方と確認するとともに、お子さんの学習面、生活面、心と体の健康について、一緒に考えていきたいと思っています。

### —10月 行事予定—

10月 2日 (月)	児童会委員会 通学バスマナーアップデー 小学部・中学部への就学相談 (～11/10)	10月19日 (木)	学習発表会 (小1・4・6、高) 洗心会リサイクルバザー 部活動なし
10月 3日 (火)	保護者懇談会 午後放課 (下校バス 13:25) 部活動なし	10月20日 (金)	学習発表会 (小2・3・5、中) 洗心会リサイクルバザー
10月 4日 (水)	保護者懇談会 午後放課 (下校バス 13:25)	10月23日 (月)	児童会・生徒会委員会 避難訓練 (舎)
10月 5日 (木)	部活動なし		歯磨きチャレンジ週間 (～27日)
10月 6日 (金)	校外学習 (高1)	10月24日 (火)	あいさつ運動 (～27日)
10月 7日 (土)	同窓生と親の会役員会・総会 レクリエーション	10月25日 (水)	歯科健診
10月12日 (木)	修学旅行 (高3、～13日)	10月27日 (金)	洗心会執行部会⑤ 洗心会役員会③
10月16日 (月)	学習発表会予行 (小1・4・6、高)	10月30日 (月)	児童会・生徒会委員会
10月17日 (火)	学習発表会予行 (小2・3・5、中) 部活動なし		

## シェイクアウト訓練、避難訓練、防災教室

9月4日に、シェイクアウト訓練、避難訓練、防災教室を実施しました。子供たちは真剣なまなざしで、シェイクアウト訓練や避難訓練に取り組んでいました。防災教室では、消防士に来校していただき、具体的なお話を聞いたり、防災に関するクイズをしたりして、防災への意識を高めました。



～シェイクアウト訓練～  
(小学部)



～避難訓練～  
(中学部)



～消防士による防災教室～  
(高等部)

## —事務部からのお知らせ—

### ○学校徴収金

10月分の学校徴収金口座振替日は、10月10日(火)です。  
前日までに口座の残額を確認してください。



## 小学部 校外学習

(5年) 9月13日(水)に、生活単元学習「働く人を見に行こう」の一環で富山西郵便局の見学に行きました。まず、手紙が届くまでの流れについて説明を聞き、様々な体験をしました。窓口では、切手を買って持参した自分ののがきに貼り、ポストに一人一人投函しました。施設内では、荷物がベルトコンベアで素早く仕分けられる様子に見入ったり、チルド室の寒さに驚いたりしながら、楽しく見学しました。また、配達用のバイクに一人ずつ乗せてもらいました。今回、郵便局の仕事について学んだことを今後の学習につなげていきます。



(6年) 9月8日(金)に、生活単元学習「働く人を見に行こう」の一環で富山消防署の見学に行きました。通信指令室の見学では、しらとり支援学校が火事になった想定で119番通報をすると、大きな画面に学校の地図が映し出されました。体験活動では、消防士の服やヘルメットを身に着けたり、20m



の消防ホースの束を持ったりして、重さを実感しました。消火体験では、設置された本物の炎に緊張しながらも、真剣な顔つきで水消火器のホースを向けて水をかけ、無事火が消えるとほっとした顔を見せていました。